

第96回メーデー中央大会に参加



次代につなぐ平和の願い！ 支え合う安心社会と確かな未来をみんなで作ろう！

4月26日（土）、第96回メーデー中央大会が東京・代々木公園で開催されました。約29,200名の働く仲間が一同に集い、生保労連からも各組合の多くの方が参加しました。

冒頭、芳野連合会長は、平和や人権の侵害、自然災害、世界経済など取り巻く情勢に対して、「混とんと

した世界を突き進む

には希望という光を常に灯し、一致団結するしかない。80年前に多くの犠牲と引換えに築かれた平和をこの先につないでいくため、改めて力を合わせ、心を合わせましょう」と呼び掛けました。

続いて、政府を代表して石破茂内閣総理大臣、労働行政を代表して福岡資麿厚生労働大臣、東京都を



メーデーとは

1886年5月1日、米国で長時間労働の改善を求めた労働者が8時間労働の実現を求めゼネストを起こしたことに由来します。以降、労働者たちが集まり権利を主張する日として世界各地に広がりました。日本では1920年5月2日に第1回メーデーが上野公園で開催されました。



当日の様子はこちらから
ご覧いただけます

代表して小池百合子都知事より、激励の挨拶がありました。

その後、春季生活闘争の取組みを続ける現場から、働く仲間へ力強いメッセージをいただくとともに、国際連帯・人権尊重の現場からは、日本で働く技能実習生の安心・安全と、ミャンマーへの支援が強く訴えられました。最後はメーデー宣言を満場の拍手で採択し、がんばろう三唱で想いを一つにし、閉会しました。

